

効率的で 魅力ある農業を 目指して

スマート農業を積極的に活用している事業者を紹介します。



株式会社白銀カルチャー
代表取締役
荒木 康男さん

スマート農業で売り上げ増加

農業を仕事にする人が高齢化し人手も減る中、いずれは機械を使って効率的に農作業をする時代が来るだろうと思っていました。平成31年から新潟市などと共同でスマート農業の実証事業に参加し、ドローンや自動給水栓、真つすぐ自走するトラクターなどを導入しています。

これらの技術を活用してからは、農作業を効率化できています。例えば、以前はベテランのオペレーターが高度な技術を使って運転していたトラクターを、今では若手社員が難なく扱えます。誰が操作してもトラクターが自動で真つすぐ種をまいてくれるので、その後の収穫作業も楽になりました。社内全体の作業効率がかなり上がりました。空いた時間と人員を枝豆やカリフラワーなど高収益な園芸作物の栽培に振り分け、以前よりも売り上げを伸ばすことができました。

効率性と収益性を高めたい

また、マニュアル化できる機械作業が増え、個人の経験に頼らず農作業ができるようになりました。社員は農業の常識にとらわれず、斬新で効率的な栽培方法を提案してくれます。

スマート農業の効果を最大限生かすには栽培の土台となる農地の整備も必要だと感じています。今後は機械に合わせた農地の整備を進めて、より収益を上げられるようにしていきたいです。

◀ドローンのコントローラー。タブレット画面を見ながら操作する。専用のアンテナを使うことで、位置情報の誤差は数cm以内に収まる



株式会社白銀カルチャー (秋葉区岡田)
経営面積 128.2ha(水稻48.9ha、大豆55.9ha、麦9.9haなど)
従業員 10人(平均年齢36歳)
スマート農業技術の導入による省力化などが評価され、農林水産省・全国担い手育成総合支援協議会主催「2021年度全国優良経営体表彰」生産技術革新部門で農林水産省経営局長賞を受賞

活躍する若手社員



山口 孝治さん
同社

経験が浅くても力になれる

私は入社5年目で、農業の仕事をする前はペットショップで働いていました。農業は経験と技術が必要で大変な仕事というイメージがあったので、トラクターを簡単に真つすぐ運転できて驚きました。

現在は当社の野菜グループのリーダーとして、枝豆やカリフラワー、キャベツなどの栽培を任されています。新しい技術や苗などの情報をインターネットで調べ、効率的な栽培方法を自分なりに研究しながら作物を育てています。スマート農業があることで農業経験が浅い私でも会社の力になれることが多く、やりがいを感じています。休日には妻とシヨップングに出掛けるなど、プライベートも楽しめています。これから質の良い野菜をたくさん収穫して、多くの人においしいと言ってもらえるよう頑張りたいです。



▲最近では社内のビニールハウスでメロン栽培に挑戦している。休憩時間に振る舞われる山口さんのメロンは同僚から大好評

新潟市産のおいしさを堪能しよう

旬の農産物

秋から冬にかけて旬を迎える市内産の野菜や果物などを紹介します。



越王おけさ柿

- 新米 銘柄ごとに順次販売
- ナス…9月下旬ごろまで
- 枝豆…10月ごろまで
- 野菜
- メロン…11月中旬ごろまで
- トマト…11月ごろまで
- キュウリ…11月ごろまで
- かきのもと(食用菊)…12月上旬ごろまで

- 野菜
- タマネギ…来年1月ごろまで
- 大根…来年2月中旬ごろまで
- ネギ…来年2月ごろまで
- サトイモ…来年3月ごろまで
- サツマイモ…10月下旬ごろ～来年2月ごろ
- ブドウ…10月ごろまで
- イチジク…11月ごろまで
- 果物
- 日本ナシ…12月ごろまで
- 柿…9月下旬ごろ～11月ごろ
- ル レクチエ…11月ごろ～12月ごろ

新潟市の食の魅力を届けよう

農水産物送料応援キャンペーン実施中

市内産の農水産物を対象店舗で税込み3,000円以上購入し配送する場合、配送料を最大4,000円まで支援しています。

※詳しくは新潟市ホームページに掲載

同キャンペーン事務局 (☎025-230-7151)

